



国立大学法人

滋賀医科大学



令和5年6月30日 【情報提供】

脳卒中早期発見アプリ開発 - 2022年度「関西みらい共同研究助成金」に採択 -

滋賀医科大学創発的研究センター 高畑翔吾特任助教を研究代表者とする、株式会社Medpreneurと滋賀医科大学の共同研究プラン「脳卒中による構音障害を検知するプログラム開発」が、このたび、「関西みらい共同研究助成金」に採択され、令和5年6月2日に行われた授賞式にてプレゼンテーションを行いました。



授賞式の様子
関西みらい銀行代表取締役 西山社長(左)・高畑特任助教(右)

－ 本件のポイント －

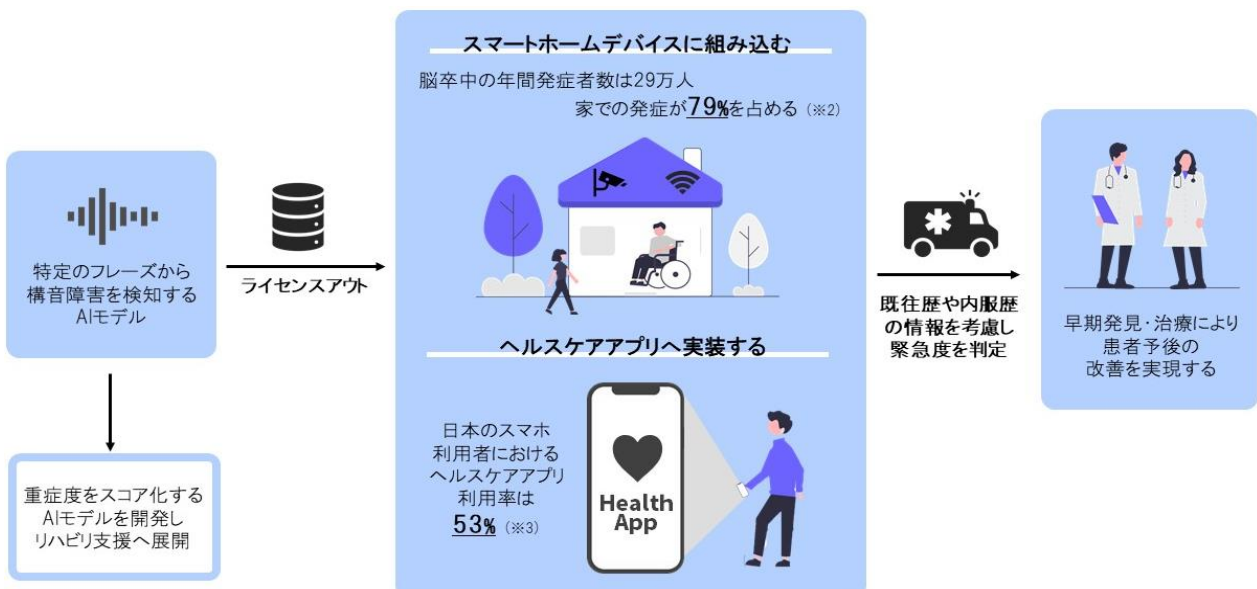
- ・株式会社Medpreneurと滋賀医科大学の共同研究プラン「脳卒中による構音障害を検知するプログラム開発」が、「関西みらい共同研究助成金」に採択。
- ・本研究では、「音声データ」のみを用いて脳卒中の早期発見を実現する技術開発を目指す。
- ・本技術の開発により、患者の予後の大幅な改善・医療費の抑制・介護負担の軽減への貢献が期待される。
- ・研究代表者：高畑翔吾特任助教は、本学医学部に在籍時から「脳卒中早期発見アプリ」の開発に取り組んでおり、ビジネスコンテストでの優勝や特許出願の実績がある。

－ 本件の概要 －

「関西みらい共同研究助成金」は、株式会社関西みらい銀行が助成する助成金で、中小企業と教育研究機関とのマッチングによる共同研究・技術開発等の支援により、地域経済の活性化に資する事業をサポートするものです。

このたびの共同研究プラン「脳卒中による構音障害を検知するプログラム開発」では、脳卒中により引き起こされる症状の一つである「構音障害※1」を検知可能なアルゴリズムおよび、構音障害の特徴から重症度をスコア化できるプログラムの開発を目指します。本技術の開発により、脳卒中の早期発見・早期治療が期待され、患者の予後を大きく改善し、医療費の抑制や介護負担の軽減に貢献すると考えられます。

音声データのみを用いて実用的な感度・精度で脳卒中の早期発見を実現する独自性などが評価され、今回「関西みらい共同研究助成金」に採択されました。



－ 研究者紹介 －

本学医学部医学科在籍時に「文部科学省次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)」に参加し、セミナーやワークショップを経験する中で、自分達が認識した医療上の課題の解決策として考案した「脳卒中早期発見アプリ」を開発し、「ミライノピッチ」を始めとする3つのビジネスコンテストで優勝、大学と共同で特許出願を行った後、JST(科学技術振興機構)の「社会還元加速プログラム(SCORE)」に採択され研究開発費を獲得するなど、数多くの実績を残しています。

現在は創発的研究センターの特任助教として、また、大学発ベンチャーである株式会社Medpreneurの代表取締役として、医療現場が「今」困っている課題の解決に取り組んでいます。

－ 用語解説・出典 －

※1 構音障害

音を作る器官やその動きに問題があり、言葉を正常にはっきり発音する能力が失われる障害のこと。「声の障害(声の大きさの変動や声の震えなど)」、「構音の障害(特定の音を構成できない障害)」、「韻律の障害(声のピッチや抑揚、アクセントの異常など)」の異常が特徴。

※2 厚生労働省. 平成30年版厚生労働白書－障害や病気などと向き合い、全ての人が活躍できる社会に－ 2018年 [Available from: <https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/18/backdata/01-01-02-04.html>]

※3 スマホアプリユーザーのヘルスケアアプリの利用率は53%と3年前の1.7倍に。 2022年 [Available from: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000337.000005362.html>]

《本件の詳細に関するお問い合わせ先》

滋賀医科大学 創発的研究センター 特任助教
高畑 翔吾
e-mail: shogot@belle.shiga-med.ac.jp

《プレスリリースに関するお問い合わせ先》

滋賀医科大学 総務企画課 広報係
TEL: 077-548-2012(担当: 岩品)
e-mail: hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp